

令和2年 10月「月報」

1 はじめに

8月28日、安倍総理大臣が体調不良で辞任することを表明、自民党では総裁選挙が行われ、9月14日、安部内閣の政策の継続を訴えた菅義偉官房長官が当選しました。に16日の臨時国会で菅自民党総裁は、衆参両院の本会議で第99代首相に指名され、同日組閣、天皇陛下から任命され就任しました。

自衛隊の最高指揮官となった菅内閣総理大臣は、16日の記者会見で、外交・安全保障について「日本を取り巻く環境が一層厳しくなるなか、機能する日米同盟を基軸とした政策を展開する。国益を守るために『自由で開かれたインド太平洋』構想を戦略的に推進し、中国、ロシアを含む近隣諸国との安定的な関係を築きたい。戦後外交の総決算を目指し、北朝鮮による日本人拉致問題の解決に全力を傾ける」と今後の安全保障について考え方を明らかにしました。

これに先立って政府は、9月12日、国家安全保障会議（NSC）の4大臣会合（安倍総理大臣、麻生財務大臣、菅官房長官、河野防衛大臣）を開き、ミサイル阻止に関する新たな方針について、与党側と協議しながら、年末までにあるべき方策を示すとする安倍総理大臣の談話を発表しました。

これによると「迎撃能力を向上させるだけで本当に国民の命と平和な暮らしを守り抜くことができるのか、との問題認識の下で、新たな方針を検討してきた。」としています。この際、「この検討は、憲法の範囲内において国際法を遵守しつつ行われるもので、専守防衛の考え方については、いささかも変更なく」さらに「日米の基本的な枠割分担を変えることもない」としています。

新たに第21代防衛大臣に岸信夫衆議院議員（山口2区）が任命され、その就任記者会見で、「防衛大臣として、世の中や時代の変化を敏感に感じ取り、常に柔軟な発想で25万人の隊員の先頭に立って、国民の皆様の負託に応えるため、我が国、また世界の平和と安定に全力を尽くしてまいりたい」と述べました。

また岸防衛大臣は、安倍前総理の談話に関連して「敵機基地攻撃能力については潜在的に検討の余地がある」とし、年末の防衛計画大綱の見直しであるべき方策を示していくと述べています。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 防衛省政務3役の交代

9月18日の閣議で、防衛副大臣に中山康秀衆議院議員（大阪4区）、防衛大臣政務官に大西宏幸衆議院議員（大阪1区）と松川るい参議院議員（大阪選挙区）がそれぞれ就任しました。



左から大西防衛大臣政務官、岸防衛大臣、
中山防衛副大臣、松川防衛大臣政務官

(2) 令和3年度概算要求

9月30日、防衛省は令和3年度の概算要求を行いました。SACO関係経費及び米軍再編関係経費などを除いた防衛関係経費は5兆4898億円とこれまでの最大の額(20年度当初予算比3.3%増)となっています。

令和3年度は「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱」の3年目で、防衛省は「真に実効的な防衛力として多次元統合防衛力の構築に向け、防衛力整備を着実に実施する」としています。以下概要を紹介します。

ア 本年度の概算要求の特色

例年とは異なり、先ず初めに「少子高齢化等も踏まえた人的基盤強化に優先的に取り組む」としていることです。

(ア)「自衛隊の魅力向上のための取組み」として「優秀な人材確保のための取組みの推進」と「女性の活躍、働き方改革の推進及び生活・勤務環境の改善」をあげています。

この中で、任期制自衛官の任期満了後に国内の大学に進学した者が、その在学期間中、予備自衛官又は即応予備自衛官に任官した場合、入学金及び授業料の一部を給付する「給付型奨学金」の創設を要求しています。

(イ) 陸・海・空・自衛官をあわせて1569人の増員を要求しています(令和2年度は641人の増員)。

イ 「新たな領域」といわれる宇宙・サイバー・電磁波領域の整備

(ア) 宇宙については、令和8年度をめどに打上げ予定のSSA(宇宙状況監視)衛星の設計への着手、ミサイル防衛のための衛星コンステレーションの活用についての検討、宇宙領域における指揮統制を担う部隊を新編し、この部隊と宇宙作戦隊を隷下に持つ宇宙作戦群(仮称)の新編などを要求しています。

(新たなSSAシステムのイメージ)



(イ) サイバーでは、自衛隊指揮通信システム隊を廃止して、約540人の自衛隊サイバー防衛隊(仮称)の新編や、高度な知見を有する民間の高度サイバー人材(サイバーセキュリティ統括アドバイザー)の採用などを要求しています。

(ウ) 電磁波では、ネットワーク電子戦システムの取得などとともに、ドローン等に効率的に対処が可能な高出力レーザーシステムなどの研究開発などを要求しています。

ウ 「従来の領域」の能力強化

(ア) 30年度型護衛艦7番艦と8番艦の建造、F-35A(4機)及び同B(2機)の整備、16式機動戦闘車25両の取得などを要求しています。

(イ) 持続性・強靱性を強化するため、弾薬及び燃料の確保、装備品の可動率確保のための取組みの推進や「衛生機能の強化」として、自衛隊入間病院(仮称)の新編、「技術基盤の強化」として次期戦闘機の開発なども要求しています。

(3) 艦隊情報群の新編

海自は、電波情報をはじめとする情報収集・分析機能を強化するため、10月1日付で情報業務群(船越)を廃止し、新たに自衛艦隊直轄部隊として「艦隊情報群」(船越)を新編しました。

定員は、約30人増の230人体制となります。また情報業務群隷下にあった作戦情報支援隊(船越)、電子情報支援隊(同)、基礎情報支援隊(市ヶ谷)の3個部隊を統合して船越地区に集約、業務の効率化を図ります。

3 家族会の活動

(1) 令和元年度第1回防衛講演会(道央自衛隊家族会担当)

令和2年度第1回防衛講演会は、道央自衛隊家族会(香月会長)が担任し、9月24日、千歳市の「ホテルグランテラス千歳」にて開催しました。

本講演会には、本部から伊藤会長及び土谷事務局長が参加し、講師の岩田清文氏(第34代陸上幕僚長)が、「国際環境の変化と我が国の防衛」と題して講演しました。

講師は、益々厳しさが増す我が国周辺の安全保障環境及び宇宙・サイバー・電磁波の新たな領域・形態の進化の状況並びに新たな兵器(極超音速ミサイル)への対応要領等を図表や写真を使い、聴講者にわかりやすく講演され大変好評を博しました。

会場は、新型コロナウイルスの感染防止を考慮しソーシャルディスタンスを確保した配席により聴講者数を制限する等の対策を取りましたが予定数を上回る約270名が聴講しました。



熱弁を振るう岩田講師



ソーシャルディスタンスに配慮した配席

(2) 北関東地域協議会

9月13日～14日、北関東地域協議会(福田登会長)が、長野県家族会(西澤賢史会長)の担当で同県安曇野市「ほりで一ゆ 四季の郷」にて開催され、本部から川又北関東地域担当委員が出席しました。

今回は、新型コロナウイルス対策上、各県会長及び役員のみでの参加に限定しました。会議では、「おやばと3種郵便化の是非」及び「隊員のパワハラ・セクハラについて」の2つのテーマについて、各県会長の発表があり、問題認識の共有と施策の情報交換をしました。特におやばとの3種郵便化については、「既に郵送配布をしている地区会は経費節減になるが、手配り主体の地区会は会費の値上げが必要となることから、会員の理解を得る丁寧な説明が必要」との意見が寄せられました。

翌14日は、安曇野市の穂高神社及び大王わさび園等の研修を行い、一連の行事を終了しました。



参加者集合写真



ソーシャルディスタンスに配慮した配席

(3) 第40次派遣海賊対処行動航空隊への慰問・激励（沖縄県家族会）

9月4日、古門沖縄県会長は、第5航空群（那覇基地）基幹の第40次派遣海賊対処航空隊（司令 市川明伯^{あきのり}2等海佐）を訪問し、本会からの慰問・激励を担当しました。

当日は、市川航空隊司令が不在のため、糸賀3等海佐に古門会長から激励品（アラビヤコーヒー）を贈呈し、「派遣隊員の方々全員が出国から帰国まで健康であること」を祈念しますと激励しました。



糸賀3佐に激励品を贈呈する古門会長

(4) 第37次派遣海賊対処行動水上部隊への慰問・激励（長崎県家族会）

9月9日、浦田長崎県会長は、護衛艦「ありあけ」（佐世保基地、艦長 江澤斎高^{えざわなりだか}2等海佐）基幹の第37次派遣海賊対処行動水上部隊への本会からの慰問・激励を担当しました。

当日は、浦田会長から江澤艦長へ激励品（ペットボトル飲料水）を贈呈し、無事の帰国をお祈りしました。

後日、江澤艦長から「コロナ禍ではありますが、ありあけクルー総員が元気で任務を完遂できるように日々努力する所存です」との礼状が伊藤会長あてに届きました。

(5) 家族会活動スナップ

新隊員後期課程教育の訓練激励



福島市家族会（後藤啓行副会長）

【街頭募集協力、野外モニターでも】

【幹部候補生の行進訓練激励】



佐賀県武雄市・塩田町家族会

【近い距離で自衛隊を応援したい】



福岡県家族会（中村周治県理事）



兵庫県伊丹市家族会（田中敏光会員夫妻）

(6) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

ア 全般

9月の「問い合わせ」件数は2件でした。コロナ禍が少し落ち着いたせいもあり、新規の相談はなく、いずれも継続案件でした

1件目は、1任期で退職した元自衛官が、どうしても夢を諦めきれずに航空自衛隊への再入隊にチャレンジするとの連絡があり激励しました。母親からは「相談できる人がいて本人も喜んでいる」とのお礼の連絡がありました。

2件目は、コロナ禍でお盆に帰らず、連絡がなかった息子が突然「自衛隊を辞めて帰ってきた」とのご家族からの報告でした。部隊への通報を控えている間に、当該隊員が退職するという事象が起きてしまいました。「早めに部隊と連携していればあるいは違った選択枝があったのかも知れない」と類似問い合わせの際の教訓にしたいと思います。

イ 集計結果（概要）

- 総件数：2件（「隊員や家族に関する問い合わせ」2件）
- 新再区分：「再」2件
- 問い合わせ区分：問い合わせ内容は、その他（コロナ等）2件

ウ 今後の方向

全国的なコロナ感染者数の減少傾向もあって、10月1日よりGo to キャンペ

ーン拡大や自衛隊の感染防止施策が緩和されることもあり、新たなストレスや悩みが発生する可能性もあるでしょう。総会において半年間の総括をご報告しますが、何かあれば遠慮なく「問い合わせ窓口」をご活用下さい。